

JR東労組盛岡

No.20
2020年10月30日
東日本旅客鉄道
労働組合
盛岡地方本部

〒020-0045
盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号
発行人 佐々木克之
編集人 情宣部
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157
JR 033-2238・2239 FAX 033-2230

2020年度年末手当等に関する申し入れ

本日(10月30日)、第1回交渉が開催され、要求の趣旨説明を行いました！！

～東労組の主張～

- ・経済の先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていく中で、各種施策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。
- ・社会インフラとしての使命を全うすべく、健康管理に努め、安全安定輸送の提供かつ、安心の提供に向けて今後も奮闘している。
- ・鉄道営業収入は第1四半期で対前年比34.1%だが、第2四半期では46.9%まで回復している。社員一人ひとりのたゆまぬ努力の結果として、コロナ禍においても収益を生み出している。
- ・変化への対応に対する組合員・社員の努力や労働の質が高まっていことへの評価、今後の努力等に対する投資が必要だ。
- ・JR東労組は、コロナ禍における社会の変化と決算の現実を認識し、組合員と危機感を共有し、安全を最大の価値基軸に据え、健全な経営基盤の構築を目指そうとする諸施策に対し、理解する努力を惜しまず向き合っている。
- ・あらゆる感染防止対策を行い、安全性を訴え、黒字経営に向けた議論をつくり出し、この赤字・コロナ禍を乗り越えるべく真剣に議論し取り組んでいる。
- ・赤字、コロナ禍においても奮闘する組合員・社員の雇用と生活を守り、人材の流出を防ぐ観点からも、今こそ「人」への積極的投資が必要だ。

～東労組本部に寄せられている職場の声～

「経営の厳しい状況もあるが、私たちの生活もある」「今も変わらず安全・安定輸送と安心の提供に向けて奮闘している」「転職している社員や、転職を考えている社員がいることに不安視している」「夏季手当が低額であった事も踏まえて、年間では安定した水準を確保すべき」「交渉前にボーナスカットを報道されモチベーションが下がった」「業績が好調の時も先行きが不透明と支給が抑えられてきた」「このような状況下だからこそ社員の期待に応えてほしい」・・・など。

～会社の現状認識～

- ・社員のみなさんに対して、コロナ禍でも不安と緊張の中、感染症対策を取りながら日々安全の確保・安心の提供へ尽力いただいていることに感謝申し上げる。
- ・第2四半期として初めて大幅な赤字を計上するという非常に厳しい決算。9月16日に発表した業績予測も通期でも初めての大幅な赤字となる見込み。
- ・経済動向もコロナの影響は出ており、4～6月の実質GDPの成長率は年率でマイナス28.1%、8月の完全失業率は3%台となる厳しい状況。
- ・テレワークやeコマースなど移動を伴わない働き方、暮らし方が急速に普及するなど「変革2027」で予測した10年先の未来が前倒しで現れている。コロナ前の世界に戻ることはない。
- ・コロナでの変化は短期的には打撃となるが、チャンスと捉えて「変革2027」のスピードアップとレベルアップ、大胆な構造改革を実施していく必要がある。
- ・社員の継続的な発展こそが社員還元の更なる充実、働きがいの向上、社員・家族の幸福実現に繋がっていく事を前提に、厳しい経営環境や課題について認識を共有させることが重要。
- ・コロナ前に戻らないことを念頭に、収入確保、コスト削減への一層の努力が不可欠。
- ・7期連続で行った基本給改定、キャリア加算、各種手当見直しなどを考慮しながら総合的に判断していく必要があると考える。
- ・高い公共性を有した企業であるので、世の中の状況にも留意するべきである。

**要求額満額獲得に向けて交渉に臨んでいる本部交渉団を
職場からの運動・取り組みで支えよう！！**